

よこすか ライフプランナー通信

医療特集

日本一の医療都市
をめざして



洋次郎

生まれも育ちもハイランド/津久井幼稚園卒園/栗田小学校入学/関東学院六浦小中高卒業/関東学院大学文学部英米文学科卒業/住宅メーカー入社/生命保険会社入社/横須賀青年八日会平成27~28年度会長/ハイランド在住/40歳/A型ヤギ座

横須賀でくらす人のために。
教育には、もっとできることがあります。
医療にも、もっとできることがあります。
じつは問題いっぱい横須賀ですが、可能性いっぱい横須賀と考えたい。
横須賀には、できることがまだまだある。
横須賀にしかできないことが、たくさんある。
住宅メーカーと生命保険会社で、たくさんさんの人生と向きあってきた経験をいかし、「よこすかライフプランナー」として、地元横須賀のまちづくり尽くすに尽くしていきます。

横須賀の可能性をさがして

横須賀の医療の可能性は？ 課題は？お話を聞きました

患者さんの4割は高齢者。

この割合はこれからも増えていく。

高齢者にやさしく健康寿命に向きあう

医療環境のインフラ整備が必要。

一人当たりの医療費は県内19市で最も高い。

一方で、平均寿命は県内最短。

(厚生労働省 平成22年市町村別生命表の概要)

国民健康特定健康診断の

受診率が28.5% (2014年度)

たとえば船橋市は47.7%。

生活の質の向上、健康寿命への関心が、

まだまだ薄い。

生活習慣病のリスクをもつ人の割合が高く、

健康マネジメントへの

意識が低いことが想定される。

健康管理は収入と

比例しているのかもしれない。

横須賀は、診診連携、病診連携が進んでいる。

医療のインフラは

住む場所を決める上でとても重要。

いい医療があれば離れて暮らす家族にも

安心を与えることができるし、

周辺都市からの吸引力にもなる。

通信環境が激変するなかで、

横須賀にしかできない医療システムを

つくれないだろうか。



介護における一番の問題は、人材不足。

介護の仕事は、社会貢献度が高く大変な仕事。

にもかかわらず社会的地位が低い。

モチベーションを保つのがむずかしく、

資格をもっていないもほかの職業に流れてしまう。

介護職員だと銀行の融資が受けにくい、

という厳しい現実もある。

横須賀の介護環境は、

情報公開され他業者との連携がとれていて、

情報を共有しながら共に質を高めあえる。

ただ賃金上がるだけでは人材不足は解消されない。

介護従事者が評価してもらえないような

仕組みをつくれないうか。

大病院から産科がどんどんなくなっている。

クリニックで産めるところもどんどん減っている。

個人病院のサービスはいいけれど数は少ない。

横須賀で出産の予約ができないから

里帰りをして産む人も結構いる。

リスクをとまなう高齢出産が増えてくる

これから、子どもを産む環境がきちんと整って

いなければ、定住者は増えないのでは。

小学6年生まで病院無料という制度は本当に必要か？

簡単な病気でもみんなが無料で病院に行く一方で、

アレルギーや喘息のような病気を抱える子どもが

中学生になると病院が有料になってしまう。



横須賀共済病院の長堀院長、中島内科クリニックの中島院長、介護事業所さん
ふらわあの今澤代表、横須賀市在住のお母様がた、おじいさま、おばあさま、
お忙しいなか貴重なお話をありがとうございました。



人生 100 年時代へ向けた 横須賀の医療・介護構想

医療・介護不安解消／食育推進／健康長
寿／早期から専門医の診療が
うけられる環境づくりのために。

- ・「健康寿命 100 歳宣言」
「一生涯自分の足で歩ける生活提案」など
健康マネジメントへの意識づけと
啓蒙活動の強化。
- ・健康・食育推進プランよこすかを
より多くの人に知ってもらい
「食」の主治医、「運動」の主治医、
「心身」の主治医をネットワーク化し、
家族や地域ぐるみで
QOL（生活の質）を上げるための
取り組みを具体的に提示。
- ・行きやすい、受けやすい、わかりやすい健康診断。
- ・受診場所を増やすとともに、告知内容の充実と強化。
- ・市内全域 Wi-Fi を使って、待ち時間のない
ノーストレスな医療サービスの実現。

※ 健康・食育推進プランよこすか：健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目標として横須賀市がまとめたプラン。「生活習慣病の発症予防と重症化予防」「健康を支え、守るための社会環境の整備」「食文化の理解と食生活の改善」「健康の維持向上のための生活環境の改善と環境づくり」という4つの基本的な方向から成る。

日本一の医療のまち横須賀へ

経済効果／雇用促進／定住増加のために。

- ・医療クラスター構想実現へのサポート。高度な医療を提供する医療センターを中心に、ホテルや保養施設、多種多様な医療関連企業が集まり、臨床・基礎研究・ものづくりが一体化した産官学連携の医療体制を。企業・研究機関の誘致の推進。
- ・地域包括ケアシステムの推進をサポート。住みなれた地域で介護や医療、生活支援サポートやサービスを受けられるよう市が中心となり、「住まい」「医療」「介護」「生活支援・介護予防」を包括的に整備。
- ・病診連携・診診連携（病院と診療所が、診療所と診療所が、それぞれの役割・機能を分担し、患者のためにお互いに連携しながら、より効率的・効果的な医療を提供すること）にすぐれている横須賀の地域医療構想の広報活動。

田中洋次郎 からの「提案」

日本一の医療都市
をめざすために。うかがったお話
をもとに考えました。

横須賀医療を つなぐネットワーク

医療費軽減／医療・介護不安解消／
安心医療・介護のために。

- ・横須賀の医療をサポートする
ポータルサイトをつくり、
適時的確な診療所の案内、
予約ができる環境づくりと
企業・医療関係機関からのサイト
広告収益による初診料の一部還元。
- ・「介護ワーカー@横須賀」の
コミュニティサイトをつくり、
人材の登録と仕事履歴の紹介、
情報交換や発信、評価制度や
横須賀オリジナルの認定証発行など、
人材確保・留保へ向けた具体的な支援。
- ・在宅医療、介護のお悩み事について、
横須賀に豊富な専門家ネットワークによる
講演会・相談会や巡回サービスを定期的
に実施。
横須賀は人があたたかくつながりが深い。
介護施設と地域とが密着した、
介護環境整備インフラづくり。
- ・安心して出産できる医療環境の整備。
育児不安改善に向けた相談窓口の設置。
小児医療費助成制度の見直しの提案。

ウェブサイト・SNS も、ぜひ見てみてください。 <http://yokosuka-yojiro.jp>



田中洋次郎の動画メッセージをご覧ください。 https://www.youtube.com/channel/UCPDKm-7zGE1A0hPw6N_Kavw

お話を聞くだけでなくお話したい！どこでも出張「ミニ集会」少人数からでもけっこうです。お気軽にお電話ください。

田中洋次郎後援会 横須賀市大滝町 2-17 筑波中央ビル 1 階

Tel:0468230426 Fax:0468230427 [✉ yokosukalifeplanner@gmail.com](mailto:yokosukalifeplanner@gmail.com)